

平成14年10月31日

堺清陵ロータリークラブ
職業奉仕委員長 藤川恵美子

フォーラム実施報告について

平成14年10月31日(木)職業奉仕委員会でのフォーラムを例会場にて開催。
まず始めに、先週外部卓話の成川カウンセラーを招いてのお話、少しは理解出来たのではないのでしょうか。そこで当クラブも会員の職業奉仕を聞かせていただいて、それをまとめてレポートしていきたいと思えます。

『各会員の自分の職業を通しての職業報告』

* 建築材料販売

まず最初に材料を、お客さんによるこんでもらう為に安く奉仕する。
自分自身を売っている。それは信用を売っていることで、みんなに対してサービスをして商売に繁栄している。

* 賃貸業

土地を賃貸している業務で、今の景気の悪さで安く貸しているの、自然にそれだけでも職業奉仕をしているのではないか。

* 鉄工関連企業

まず自分が儲けることが、職業奉仕につながる。

* 保育事業

35年程保育事業に携わっているが、0歳児から小学校に入るまでの幼児を預かっています。
最近とくに母子家庭と父子家庭が多いということ、又お母さんの喫煙者が増えている。その影響で子供達に害を及ぼして、将来が不安です。乳幼児の児童福祉も力を入れて地域社会に役立っているの、これが社会奉仕ではないか。

* 教員

教員を30年勤め退職、子供の立場に立って物事を考える。

* 医療関係

四つのテストの第一番目、“真実かどうか”と言うことに照らし合わせたら、患者さんに真実を言わないといけないのかということで悩み、ある方の意見を聞いて、“真実と事実は違う”ということを知ってもらった。

仕事が終わってから勉強する、そして部屋で小冊子を読むことによって、社会の情報を取り入れて、ロータリーで奉仕の時、職業を通して儲けたものを社会奉仕する。これが職業奉仕につながっている。

* 歯科医師

患者の立場に立って治療をすること。

* 生菓子製造販売

食品なのでまず第一に衛生面、そして造る人も、販売する者も清潔でなければならないことと、常に安定した供給を心掛けている、その事が職業奉仕。

* ベアリング製造

青少年への工場見学だけでなく、直接機械を使って自分の手で製造していく。その中で“この玉はどこから入って、どの様に動くのか”という探究心を養い細心の注意をはらって安全を心掛ける。又従業員を育てると同時に出身学校の学生達の色んな相談を受ける。即ち人の為に尽くす、それが職業奉仕。

ここに掲げましたのは、会員さんの、ほんの一例で、各会員さんから一つ一つ意見を聞いてまいりますと、まず自分の職業に誇りを持ち、誇りを持つということは、自身を持って真面目に日々研鑽し、働きやすい環境を作り、又地域社会にも貢献し、専門職業や知識を向上させ、それを仕事、生活、ロータリーに、奉仕の精神を社会に広める事ではないかということ、私なりに感じました。